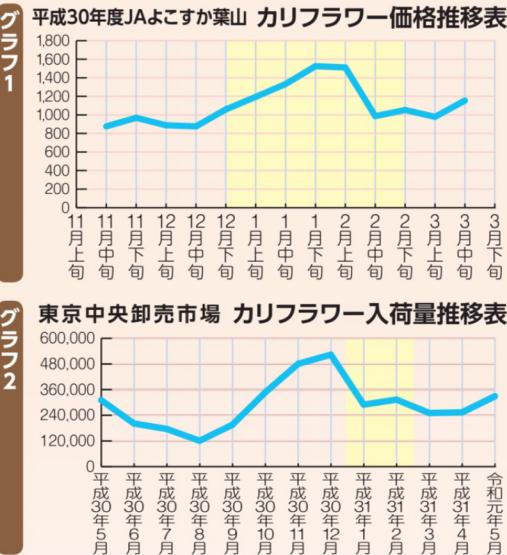


## カリフラワーの価格推移

J A よこすか葉山ではカリフラワーの共販出荷を行つております。昨年は1月に約1000ケース2ヶ月に約3000ケースの出荷がありました。

グラフ1は昨年の共販出荷における精算単価の推移グラフです。冬野菜の価格が低迷した昨年であつても年末から価格が上昇し2月中旬にピークを迎えています。

そしてグラフ2は東京中央卸売市場の昨年の入荷量です。12月の出荷をピークに1月2月は入荷量が大幅に減少しています。



## 宮農だより

### 1月、2月どりカリフラワーのすすめ

経済部 営農販売課 逆井 直基



温暖な半島の気候を活かして生産される三浦半島のカリフラワーは近在他産地には真似のできない作型で特に厳寒期の出荷においては評価を伸ばしていますJAよこすか葉山管内では直売を含めた多様な販売が行われております

年々生産する農家が増えているのが現状です市場出荷においては、1月から2月上旬にかけて近在他産地の出荷量が落ち込み、市場需要が高まりますこのポイントを活かして1月2月収穫のカリフラワーの栽培をおすすめしたいと思います

関東近在では千葉県、茨城県、埼玉県、愛知県などが同時期に出荷を行っていますが三浦半島は気候が温暖であることから1月2月収穫での栽培が十分可能です。  
JAよこすか葉山のカリフラワーは現状品質もよく市場からも高く評価をされており、同時期収穫の作付けが狙い目と考えます。

## 栽培について

### 品種の選定

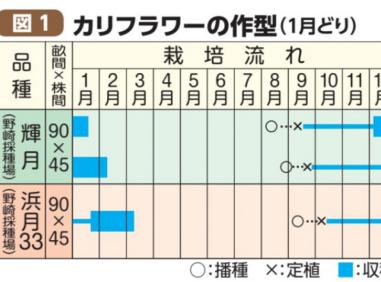
カリフラワーには早生、中生、晚生などの種類があります。収穫時期に適したタイプの品種を選定し品種間での作付けリレーを行うなどし継続的に収穫ができるよう品種選定を行いましょう。

### ●播種時期、定植時期

カリフラワーを1月収穫を目指して栽培するためには、品種によって若干異なりますが中生種は8月中旬まで、9月中旬定植。早生種で8月下旬まき、9月下旬定植が目安となります。図1は一例になります。

## まとめ

カリフラワーは比較的栽培に時間も手間もかかり難易度は高めですが、販売面においてはまだまだ可能性のある野菜です。重量面でもキャベツやダイコンなどに比べても軽いですし是非チャレンジしてください。



さ」です。収穫遅れで蕾がゆるくなってしまつているものや日焼けなどで黄色くなっているものは極端に価値が下がりますので気をつけましょう。外葉は10枚程度を基本としそれ以上は包丁などで取り除きますが、カリフラワーの花蕾は非常に弱く、衝撃等によって簡単に傷ついてしまいます。花蕾の傷は黄変しやすいので外葉の除去は箱詰めする直前に行いましょう。

カリフラワーの蕾は日に当たりすぎると黄変する可能性があります。品種によっては外葉が立性のものが多くありますが、蕾を葉でくるむなどして日焼けの防止に努めましょう。

逆に日差しが強く暖かい日にあたると一気に生育します。後に述べる規格に沿った品物を作る為に畑の巡回はこまめに行いましょう。

定植後は株をしっかりと作り、大きな花雷を作りながら灌水を行いましょう。

厳寒期のカリフラワーは生育の進みが緩やかになります。特に寒さと乾燥にあたると花蕾の肥大が止まりがちになります。

カリフラワーの蕾は日に当たりすぎると黄変する可能性があります。品種によっては外葉が立性のものが多くありますが、蕾を葉でくるむなどして日焼けの防止に努めましょう。

逆に日差しが強く暖かい日にあたると一気に生育します。後に述べる規格に沿った品物を作る為に畑の巡回はこまめに行いましょう。

定植後は株をしっかりと作り、大きな花雷を作りながら灌水を行いましょう。

厳寒期のカリフラワーは生育の進みが緩やかになります。特に寒さと乾燥にあたると花蕾の肥大が止まりがちになります。

カリフラワーの商品価値は「花蕾のしまり」と「白さ」です。収穫遅れで蕾がゆるくなつてしまつているものや日焼けなどで黄色くなっているものは極端に価値が下がりますので気をつけましょう。外葉は10枚程度を基本としそれ以上は包丁などで取り除きますが、カリフラワーの花蕾は非常に弱く、衝撃等によって簡単に傷ついてしまいます。花蕾の傷は黄変しやすいので外葉の除去は箱詰めする直前に行いましょう。

## JAグループ神奈川は8つの助成事業で農家の皆さまを支援します。

### 1 有害鳥獣対策費用助成事業

有害鳥獣対策にかかる電気柵や函罠等の購入及び設置費用を助成します。

### 2 農機等取得費用助成事業

規模拡大や作業効率向上の為に取得する農機・加工機械の購入費用を助成します。

### 3 かながわスマート農業応援事業

環境モニタリング装置や環境制御装置・統合環境制御システム・購入費用(設置費用も含む)を助成します。

### 4 かながわ畜産応援事業

分娩監視システムや自動給餌機等の導入費用(設置費用含む)を助成します。

### 5 農業法人化支援事業

国の行う法人化助成事業対象法人を支援します。

### 6 新規就農応援事業

新規就農者や研修受入先に対し、宮農費用を助成します。

### 7 利子補給事業

JAが取り扱うすべての農業資金において、県農業信用基金協会の利子補給を行います。

### 8 保証料助成事業

JAが取り扱うすべての農業資金において、県農業信用基金協会の保証が付された場合の一括前払い保証料を全額助成するものです。

1 実施期間: 2019年4月1日～2022年3月31日

(4月1日～翌3月31日までを一年度とし領収書が属する年度中しか申請出来ません。)

2 この事業は助成総額に上限があります。用件を満たしていても助成額が減額されるまたは助成が受けられない場合もあります。あらかじめご了承ください。

3 ご利用にあたってはそれぞれ対象要件・審査がございます。